

- ・参加者数（50名）
- ・講師 新日本海新聞社 田中仁成氏
- ・発表 鳥取市立福部未来学園PTA、鳥取市立西中学校教育振興会

全体の流れ

（1）受賞校発表

西中：動きのある写真、背景に黒板があるところが評価されている
写真の大きさの変化、吹き出し、自由なレイアウト、
見開きの使い方が評価ポイント

福部未来学園：幼少中一貫校なので、繋がりを意識している
内容が幼すぎず、難しすぎずを意識し、成長していける
広報紙を目指している。

（2）講師の講義

- ・PTA広報紙は学校の広報紙ではない
誰に読んでもらいたいかを考えるように
- ・構成は大中小メリハリをつけるように
- ・カラー写真は赤が映える
- ・学校の個性がわかるように
- ・いい写真は大きく、ほどほどの写真はほどほどの大ききで
- ・集合写真より活動の様子や表情が分かる写真がよい
- ・レイアウトで参考になるものはどんどん盗用すればよい
- ・変化のあるレイアウト、見出しは大きく
- ・内容は夏休み自由研究、塾、進学についてなど保護者のリアルな意見
- ・地域との関わりを入れると審査のポイントが高い傾向
- ・校長、PTA会長の座談会の様子などもよい
インタビュー形式にすると文章にするのが楽
- ・給食センターに取材などもおもしろい
- ・人権講演会の話を書けるのもよい
- ・発行者の名前は入れること
- ・コラム、あとがきを入れるとよい

- ・参加者数（小学校 47名、中学校 20名）
- ・ファシリテーター 浅雄淳子さん、アドバイザー 福壽みどりさん、河上賀一

全体の流れ

(1) アイスブレイクとグループ分け

じゃんけんゲーム、隣の人の自己紹介 →小学校9グループ、中学校4グループに分ける

(2) ワーク1「ピンチだったこと、悩み、困ったこと」

→付箋にどんどん書き出す →その後、グループ内で順番に説明しながら模造紙にはる
→その中から、グループで解決するものを一つ選びテーマをつける

【グループごとにテーマを発表】

- ①参加しやすいPTA活動
- ②全員が協力しないって～ひきうけたなら やってよ！～
- ③ブラック会議をホワイト会議へ
- ④登下校のマナー ～行儀よく歩けますか～
- ⑤保護者の理解
- ⑥人数確保どうするの？
- ⑦部会の活性化
- ⑧PTA活動の温度差
- ⑨どうすっだいな ～PTA役員になって～
- ⑩こどもの疲れ
- ⑪PTA活動に積極的に参加してもらうには
- ⑫PTA行事の人集めどうする！！
- ⑬今しかないPTA活動 ～いかに満喫するか～

(3) ワーク2「ピンチをチャンスに変えるには」

→各グループでテーマについて「原因・要因」を考え「解決策」を導く
→模造紙にまとめて発表の準備

(4) 発表

→時間の都合で4グループが発表 →発表のあとで、アドバイザーによる助

[アドバイザーからの助言]

- ・ PTA活動の意義にこだわったり結果を求めすぎると、活動が苦しくなる。役員が気軽な気分で楽しめるればよい、ぐらゐの気持ちで向かうのが良いと思う。
- ・ 登下校のマナーについて、子どもに注意する前に、大人が交通マナーを守ることがまず大切。また、地域の人に協力してもらい全体での交通安全活動が必要だと思う。
- ・ 役員の中にも、どんどん話し合って企画したい人、そうではなくて決められたことをきちんとやりたい人、の二種類があると思う。それぞれが気持ちよく活動できるような工夫が必要。
- ・ 役員をやっていると、どうすればよいのかわからないこともあるが、一人で悩むのではなく、役員同士で役割分担をして負担を減らすことも必要だと思う。

まとめ

- ・ 学校は違っても、PTAで困っていることや悩んでいることは、共通なものが多い。今回のような機会を活かし、単位PTAにとどまらず意見交換や情報共有が必要だと思う。
- ・ 今日話し合った解決策が、必ずしも正解（上手く行く）とは限らない。あるべき姿にこだわり過ぎず、方を力を抜いてPTA活動に取り組むことも大切ではないだろうか。
- ・ アイスブレイク、ワークショップなどは、各PTAでも有効な場面があるのではないかと活用してみるのも良いと思う。

東部指導者研修会記録

【第3分科会 とっとり子どもサミット ～電子メディアとのより良い付き合い方編～】

参加者数（子ども12名、大人14名、大学生5名）

記録者：川口（岩美郡小中P連）

全体の流れ

概要・ルールなどの説明

大学生自己紹介(環境大学生)

アイスブレイク：ファイブじゃんけん 自己紹介

グループ自己紹介

グループ会議① グループ名を決める みんなが好きなもの、嫌いなものを話し合う

② スマホやゲームの課題について考える

③守れるルールを考える

発表後、振り返り用紙記入

要点、ポイント

・スマホ、ゲームの課題

親が子どもを心配する気持ちは、子どもなりに理解している

子どもは優しく言ってほしい、関わってほしいと思っている

・こんな生活になるといいな

ゲームをするのに免許はいらない、ルール(納得できるもの)があるといい

ルールを考える(グループのルール、自分のルール、大人は守って欲しいルールや家族のルール)

→子ども意見 ・1日30分 20時以降禁止

・寝る前はしない、決まったところで使う、見たい番組だけみる

・食事中はみんながテレビを見ない

・一週間に一回ルールを守る

・親に時間を伝えてからゲームを始める

→大人の意見 ・すべきことをしてからゲーム

・大人もながらスマホをしない

・用途の違い(子どもと大人)を理解させる

まとめ

・スマホ、ゲームの危険性や親が心配する気持ちはある程度理解している

・大人の言うことを聞くには言い方や接し方を見直してほしい

・もっと遊んで欲しい

・小学生は親と一緒に考える、中学生は一人で考え出す

・ルールは年代で違うので合ったものを

・現在のメディアは完成されている

・12月1日研究大会にて発表 10月ごろにアンケート

・それぞれが活発に意見を出し合っていた

・大学生の盛り上げ、調整が効果的だった

鳥取県 PTA 指導者研修（東部地区）参加者アンケート

第 1 分科会（広報紙）・・・回答数 36

1. 学校区分

小学校 75%	・	中学校 19%	・	小中一貫校、義務教育校 6%
---------	---	---------	---	----------------

3. 分科会について

(1) テーマについて

良い 78%	・	だいたい良い 19%	・	あまりよくない 0%
--------	---	------------	---	------------

(2) 本日研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか？

是非活用したい 64%	・	今後検討したい 33%	・	活用は難しい 3%
-------------	---	-------------	---	-----------

理由 ○ラフなレイアウトを心がけること、いい写真を選ぶポイントなど大変勉強になりました。

○楽しく読んでもらえる広報誌にしたい

○各校の広報誌の良い点、悪い点が学べた。本稿の広報誌へじょうずにフィードバックさせたい。

○広報誌の作り方が全く分からない中、大変勉強になりました。今後参考にしたいと思います。

○学校の行事紹介のみの広報誌なので少し変化もしてみたい。

○他校の広報誌の生地やレイアウトなど参考になるものが多かった。田中さんの写真を参考に PTA の広報誌の紙面作りに役立てたいと思う。

○できることから少しずつやってみたいと思います。

○広報誌の作成について多くのヒントを得ました。内容の充実が図れそうです。

4. 今後、研修したい内容等

○いいインタビューの仕方（いい雰囲気でのインタビューの仕方）などが知りたいです。

○人権・道徳等

○実際の原稿を持ち寄ったアドバイス会など。

○学校運営協議会・地域コミュニティの実践例

5. 研修全体を通しての気付きなど

○それぞれの話が分かりやすくてよかった

○イメージを伝える写真が大切ということがよくわかりました。

○記事のレイアウトをバクります。

○全体会をただ聞くのではなくもう少し参加できるものだといいなと思います。

今回は後出しじゃんけんがあるのはよかったと思いました。

○分科会はとても参考になりました。教育委員のトークがいまいち伝わりにくかった。

○実際制作している人が是非聞いてほしい。

○企画・運営して下さった皆様ありがとうございました。

○他校の PTA 活動の様子を知ることは大変参考になる

第2分科会（PTA活動）・・・回答数52

1. 学校区分 ・

3. 分科会について

(1) テーマについて ・

(2) 研修した内容を各学校で活用しようと思うか

・ ・

○役員決めや引継ぎに活かしたい

- 〇場の雰囲気の話が盛り上がっている。日常活動は静かなので
- 〇初めての方々でも議論ができた。
- 〇各小学校PTAでそれぞれの悩みがありいろいろな意見を聞くことが出来ました。
- 〇アイスブレイク、ファシリテータの活用
- 〇活力が活性化する
- 〇研修会だが堅苦しくない
- 〇OPTAの存在理由や活動内容など今まで知らなかったことを知れた。
- 〇意見もアドバイスも聞いて良かったです。参加する人が気持ちよく！ですね。
- 〇参加型研修を学校保健安全委員会PTAに活動に取り入れたい。
- 〇活動で保護者の談話会をするのでやり方を取り入れたい。
- 〇OPTAの役員、最後はやってよかったってなるよ！といい気持ちで引き継いでいきたいです。
- 〇カラー作成がきれいであると感じました。
- 〇例年のお悩みに活用できると思ったからです。

4. 今後研修したい内容など

- 〇各学校の役員の役割、仕事内容 〇介護 〇反抗期の子どもとの付き合い方
- 〇メディアについて。子どもたちによる（SNSなどの）メディアトラブルへの対応をシュミレーション的に研修。あるトラブルが発生したとして、子どもとどう向き合うか？公的な機関にどう相談するかなど。
- 〇子どものいじめについて、人権研修。 〇OPTA活動の実態発表、工夫されているもの
- 〇子どもたちの安全（子どもも交えた具体的な行動の面や、学校や地域や保護者の間での警戒情報共有の面。警戒情報共有に関しては明確な危険情報や不審者情報に限らず、「何か気になる」といった漠然とした情報も含めて、いかに有効に共有するかに関して。
- 〇個人情報保護法。改正から数年を経て現状の振り返り。改定年度（2017年）に（PTA役員に関わっている方は記憶にあり気にされているかもしれませんが、それ以外の方は意識されていないかもしれないので。

5. 研修全体を通しての気付きなど

- 〇活発に話し合えてよかった
- 〇配布資料の順が分からない
- 〇保護者の職場理解も重要かと感じた。以前の職場はPTAに否定的でそこで働いたままなら私はこの場になかったと思う。
- 〇講義をただ聞いているだけでなく意見を出し合う形だったので参加しやすかったです。もう少し考える時間が欲しかった。
- 〇小規模校と大規模校のPTA活動の温度差
- 〇アドバイスがあり、ちゃんとまとめてくださったのが良かった。他の保護者と親睦を深めることができ元気をもらった。
- 〇参加できなかった分科会に関しても学ぶ機会があると助かります。

第3分科会（メディア とっとり子どもサミット） 回答数・・・11

1. 学校区分

小学校 55%	・	中学校 36%	・	小中一貫校、義務教育 9%
---------	---	---------	---	---------------

3. 分科会について

(1) テーマ

良い 73%	・	だいたい良い 18%
--------	---	------------

理由

皆と話ができ、他の家庭でどのようにされているか聞き、改めて考えなおす良い機会となった。時々そのような機会は必要だと思った。

小学校でメディアの問題には力を入れており、少しでも考える機会を増やしたいから。

子ども、大人両方の意見を聞くことができてよかった。子どもにルールを守ってもらうためには大人もルールを決めることが大切だと感じた。

メディアについて各家庭の様子を聞きました。それぞれのルール、取り組みを参考に今後家庭で取り組んでいきたいと思う。

ワーク形式だとみんなで参加できる。ゲーム、スマホに関する悩みは大人にも子どもにもあること、興味ある人がいる。

各家庭のルール、保護者や子どもたちの考え方を我が家の参考にしたい。

4. 今後研修したい内容など

いじめや虐待のことを研修で取り上げてほしい。

子どもが参加することで自分のルールを守ろうとする思いが分かるので、今回は子どもグループ、大人グループに分けていましたが、混合グループがあるとより熱いグループワークになってよいのでは。

子どもにスマホを持たせるときに、このルールは必要！！このルールはいらなかった（心配して損した）などがあれば教えて頂きたい。ネットトラブルの対処法。

いじめ、人権などについて。どうして人は差別してしまうのか？

ペアレンタルコントロールやネット環境についての研修。子どもの間で流行しているゲームやネットの危険性

OPTA と地域との連携がほかの学校ではどうしているのか。学校と地域のつながりについて。

いじめ（学校で、ネットでなど）について考える。

学級崩壊について考える

5. 研修全体を通しての気付きなど

参加型研修で理解しやすかった。子どもの本音の意見を聞ける機会がありがたかった。

メディアとの付き合い方はどの家庭も困っていることがあることに気づけた。親も含めてルール作りが必要だと改めて感じた。

何も準備せず参加しましたが、初めて出会った方と意見交換できいろいろな意見を知ったり、自分の意見を再確認することができた。

第3分科会は時間がお聞きしていた時間より早めに始まったので受付等でのお知らせをお願いします。各々の年代に沿ったルールの決め方をした方が良いことを知りました。

休憩中少しでいいのでお茶菓子があればいいと思いました。

令和元年度鳥取県 PTA 指導者研修会（中部地区）報告

日時：令和元年 6 月 29 日（土）9：30～12：00

場所：倉吉体育文化会館

第一分科会：不登校について

講師：鳥取県いじめ・不登校総合対策センター指導主事 教育相談担当 澤勝也氏

子どもと過ごせるはずの貴重な土曜、2時間弱の話で何か皆さんに持ちかえって頂きたい。以前は支援学校教師、現在専門は心を支える教育。親御さんの想いに答えるのが難しい。

“鳥取県・いじめ”で検索すると、自分達のセンターが一番トップにある。電話来庁相談。

『不登校の現状と県の施策』

平成 29 年度県の不登校は 100 人いたら小学校は 0. 5 6 % 中学 3 % という状況。多いか少ないかは別に『不登校がある』という事実は、本人や家族は苦しんでいる。きっかけは別にあっても掘り起こすと『不安無気力』（心のありよう）が軸。再登校への支援をしても 2 5 % ほど。4 人に 3 人は救えていない現在。

過去は国も支援（再登校）の政策だったが、現在は平成 2 8 年『教育機会確保法』再登校をゴールにしない。行けない苦しさを丁寧に受け止めて学びを作っていく、休養が大事にという支え。不登校の背景に応じた働きかけ、情報を整備して取り組む。具体的には、スクールソーシャルワーカーを学校の中に入れて支援。学習の機会（民間ではフリースクール）学べる場。市がやっている適応指導教室
このことは多くの保護者さんが知らない、いかに繋げていくか、取り組んでいる。親として何が出来るの？『つながる つなげる』相談を受けたら繋げてもらいたい。

『支える為の基礎知識』

【ワーク 1】 澤講師作成の〇×シートで考えるきっかけに。澤講師の主観による答え

- 1、不登校は社会問題？ × 『不登校』は現象 発達に必要な現象 心は揺れている時の現れ。他の現れ方になる可能性もある。たまたま不登校という現象だった。
- 2、不登校は病気？ × 文部科学省が作った名称
- 3、親の育て方に問題が？ × 自分の受けた子育てがモデル。頑張っている、絶対に×
- 4、こどもの甘え？ × 甘えは発達に必要な要素。成長の段階である、社会への活力に。
- 5、学力落ち込む？ △ 学習空白は生まれる、後での学力の定着は悪くない。学び直せる。
- 6、ネット依存傾向に？ △ 部屋にこもってネットは多い。しかし研究論文では、不登校とネットはつながりがないという結果が多かった。
- 7、学校の指導力低下？ △ 繋がりとして学校は関係がある。学校も迷っている、教員にどこまで落とし込めているか。プロだから学ぶべき
- 8、ストレスが多い？ ○ 眠れない、抑うつ症状生まれることもある
- 9、× 最初の段階効くこともあるが、傷をふかめることもある、苦しんでいる
- 10、解決策はない？ ○

不登校って何？（心理的）認知 感情 気分 行動 （情緒的）その時その時に沸き上がる
（身体的）体にでる症状（社会的）学校友達家族 的に、登校したくない、年間 30 日以上欠席したもの。（病気が当は除く）

前兆をヒントとしてとらえて、笑顔、会話、食欲、ネットゲーム、イライラ増、不定愁訴、回復プログラム、色々な支援でシステムは作られている。

『つながるワーク、つなげるワーク』

【ワーク2】 『旅の話 聞くペアワーク』傾聴、需要、共感の心で、楽しい話はニュートラルな心の状態で相手の話を聞ける。

【ワーク3】 『悩みを聞いてもらうワーク』は NGワード but 逆説語は使わない。ここでも傾聴、需要、共感が大切。無意識のギアが入るので気を付ける。

人の欲求5段階（不登校の子供は 2段階目の安心・安全・健康。家族の安定）が満たされないと3段階目（仲間に入りたい）に行けない。学校で暴力をしてしまう子供も2, 3段階目が不安定。『愛されている・認めてもらえる』

心の回復プロセスは 不安を取り除く、安心がベースになりながら一緒に、そして行動。聞き取りを大切に。安心な人、場所を与える。心を回復させていく。エピソード、ぼやとした感情を言語化させる、非言語化（音楽や旅に出るなど）でも良い。ベースの不安を取り除き、自己理解、自尊感情を育て、注意は、受容と許容はイコールではない。心は受け入れ、行き過ぎた行動はだめ！と伝え許容はしないこと。言えなければスルーする。反社会的な行動（暴力暴言無視自傷）はNG。

直接接点のある人を支えるのが支援、指導者としてどう親子を支える。言葉の力を信じて伝える。向き合う人間は根にもっとよくなりたいたい！という想いがある そこからスタートして受け止める。解決するのは本人、誘い水に聞くという姿勢で。心の根底にある欲求『愛されたい気持ち』『認められたい』をしっかり受け止めよう

第2分科会：PTA活動

テーマ：「新人役員さん向けワークショップ～ピンチをチャンスに！こんなときどうする～」

ファシリテータ：河上賀一さん／前鳥取県PTA協議会東部ブロック代表理事

アドバイザー：衣笠さん、山下さん

小学校と中学校と別れてジャンケンをして順番を決めて小学校4グループ中学校1グループに別れて着席。

【ワーク1】 PTA役員として困ってる事、一人の親として困ってる事悩んでいる事を付箋に各自記入。

模造紙の真ん中に線を引きPTA、親に分けて付箋を貼っていきディスカッションをしその中で解決したい内容を話しあい、各グループでキャッチフレーズを考え発表。

グループ①「？」を「！」に変える ②役員総選挙 ③役員が決まらない

④全員参加のPTAを目指して ⑦中学生日記～令和編～

【ワーク2】 別の模造紙にテーマを書いて左側に原因・要因、右側に解決策を書いてグループごとに話しあって発表をして、衣笠さん、山下さんがアドバイスしていく。

第3分科会：子どもサミット【メディアについて】

参加者 小学生3名、中学生2名、高校生1名、サポート（大学生4名）

講師 鳥取県教育委員会 社会教育課 指導主事 戸坂 正哉

概要 大人グループと子どもグループに分かれて電子メディア機器を利用する際のルールを考え、それぞれが考えたことを話し合い学び合った。

(1) アイスブレイク 「ファイブじゃんけん」

「じゃんけん」でお互いが出した指の数が「5」にならないと自己紹介ができない。あいこはなく、じゃんけん1回で5にならないければ、次の人を探してじゃんけんを行うゲーム。初対面の参加者全員と和やかな雰囲気づくりを行った。



※ファイブじゃんけん

(2) チーム名を決める

みんな○○○ですゲーム。みんなの共通点を探し出しチーム名を決定する。

Aチーム：スヌーピー大好きチーム Bチーム：ハンバーグ大好きチーム

Cチーム：お酒大好きチーム Dチーム：お酒飲めないチーム

(3) メディアの課題 ～スマートフォンやゲームでの課題って何？～

- ・ 決まりを守って正しく使えば、便利で楽しいもの、使い方を間違えたり、してはいけないことを知っていてやってしまったりすることで、いろいろなトラブルが起こる。
- ・ 使いすぎによるトラブルも多いことが分かってきた。
- ・ スマートフォンやゲームの長時間利用・間違った使い方でのどんなトラブルが起こるのでしょうか？
*家庭での夕食時にスマホをさわりながらの夕食になってしまったり・・・など。

(4) グループ会議1 ～大人の気持ち・子どもの気持ちになって考えてみよう！～

- ・ みんないろいろ言うけれど・・・大人には大人の、子どもには子どもの思いがあります。
- ・ 大人は子どもの気持ちを、子どもは大人の気持ちを考えることから始めてみましょう！

★子どもは大人の気持ちを考えてみる。

- ①いつまでもゲームをするのはやめなさい！と言っているときの大人の気持ちを考える。
- ②どんな言葉で言われたら子どもはゲームなどをやめて、すべきこと（勉強・手伝い）をする？

★大人は子どもの気持ちを考えてみる

- ①夜遅くまでゲームをやめられない、子どもの気持ちを考える。
- ②「友達もみんな持っているからスマホ買って！」と言ってきた子どもの気持ちは？
- ③将来の夢は you tuber は何で？



※グループで相談

★子どものまとめ <子どもは大人の気持ちを考えてみる>

- ①いつまでもゲームをするのはやめなさい！と言っているときの大人の気持ちを考える。
 - ・ ゲームよりもっと大切なことがあるのはずなのに。
 - ・ 子どものことを気遣っている ・ 目が悪くなるから。
 - ・ ゲーム依存症になるから。・ 勉強がわからなくなるから。体のことが心配だから。
 - ・ ひきこもり、心が病むことを心配している。・ 人と関わる時間が減ることを心配している。
- ②どんな言葉で言われたら子どもはゲームなどをやめて、すべきこと（勉強・手伝い）をする？
 - ・ 時間を守らなかつたら1ヶ月取り上げ。 ・ やめないと好きなごはん作らない。
 - ・ プールに行かせてくれたらゲームをやめる。 ・ 一緒にお散歩しよう。
 - ・ 時間を守らないと捨てる。 ・ 宿題終わったら遊んでいい。



※発表（子どもチーム）

★大人のまとめ <大人は子どもの気持ちを考えてみる>

- ①夜遅くまでゲームをやめられない、子どもの気持ちを考える。
 - ・ 自分ではゲームをやめられない。・途中でやめられないように上手く作ってある。動画配信サイトを一緒にみてしまうので理解できる。大人でもゲームが楽しめる
- ②「友達もみんな持っているからスマホ買って！」と言ってきた子どもの気持ちは？
 - ・ 仲間外れになる。・友達と内緒話をしたい。友達と同じ時間を過ごしたい（LINEしたい）
 - ・ 友達が持っているとうらやましい。 ・ 持っていないとSNSグループに入れない。
 - ・ 仲間に入りたい。・楽しそう。 ・ ゲームや動画を見たい。
- ③将来の夢は you tuber は何で？
 - ・ 子どもの you tuber がいる。 ・ 自分発信がしたい。
 - ・ 高収入。 ・ 誰でも有名になれると思っている。



※発表（大人チーム）

令和元年度鳥取県 PTA 指導者研修会(中部ブロック)報告

指導者研修会アンケート集計結果

1.参加者

	倉吉市小	倉吉市中	東伯郡小	東伯郡中	合計
参加者数	20	16	25	13	74
(申込数)	20	13	23	15	71

参加率 104.2%

2. 参加分科会

	① 第一分科会	② 第二分科会	③第三分科会	計
小学校	21	21	3	45
中学校	19	7	2	28
高等学校			1	1
合計	40	28	6	74

3.本日の研修内容を各学校で活用したいと思いますか 提出率 93.7%

	是非、活用したい	今後、検討したい	活用は難しい	記載なし	計
第一分科会	18	15		2	35
第二分科会	11	15	1	1	28
第三分科会	3	3			6
計	32	33	1	3	69

4.今後、研修したい内容

重複可での回答

① PTA	15	⑨虐待・DV	11
② 広報紙の作成	5	⑩子育て	10
③ コミュニケーション	24	⑪子供の安全	12
④ ゲーム機・スマホ・上手な付き合い方	17	⑫人権	3
⑤ 学力向上	14	⑬性	4
⑥ いじめ	19	⑭障害	7
⑦ 不登校	18	⑮その他	0
⑧ 子供の非行	10		

5.全体感想

第1分科会

- ① 分科会研修は、有意義だった。ただこれを PTA で、研修するには、ハードルが高い、教育委員会の講師派遣を活用できればと
- ② 不登校について、もう一度考えることができた。ささいな一言でも大切に伝えていかなければ
- ③ 学校に持ちかえり是非活用したい。
- ④ 今日の研修したことを家に帰って考え、子供に伝えてみようと思う
- ⑤ とても良いお話でした。おとなりさんのお話楽しかった。
- ⑥ 不登校の同級生の保護者にも参加できる機会があればいいと思った。苦しいのは、親も一緒ですので。
- ⑦ 無理せずできることから、やってみたいです。
- ⑧ 親同士のつながりの中でも拡げる為には、PTA 活動における工夫も本気で考えていかなければいけないと強く感じました。

第2分科会

- ① 自分の成長のためにも楽しく頑張っていきたいと思っています
- ② PTA を運営していく立場として参考になる・すぐすぐに取り入れる事が盛りたくさんでした。
- ③ 同じ気持ちを持っておられる方と意見交換出来た事が有意義に感じました。
- ④ 他の学校の状況など話し合おう事ができてよかった。
- ⑤ 不安だった事が、みんなも同じだったんだなあって感じました。

第3分科会

- ① グループ別で、大学生にリードしてもらい楽しそうにしていた。参加して良かった。
- ② ネット環境が複雑になり大変な世の中です。もっともっと、かこくなネットワークになりつつあります。ツイッター・FB・インスタからいられていくのです。
- ③ 子供も自分たちがどうすれば、メディアとうまく付き合っていけるかをちゃんと考えているのがわかって良かった
- ④ 初対面の保護者の方とたくさんお話が出来て良かった。

全体の反省

- ① 各単 P 又は、連合会の引継ぎにおいて、指導者研修会開催概要を説明と理解を求める。
- ② 前日までに届いているチラシ・資料等は、各分科会ごとにセットし配布できる様にする。
- ③ 各分科会のレイアウト、準備するもの役割分担が、スタッフ皆が把握しているように事前打ち合わせをしっかりとる。
- ④ 責任者は、各分科会の内容を把握して、会がスムーズに進む様にサポートする。

元年度 鳥取県PTA指導者研修（西部地区）参加アンケート結果

【第1分科会】 人権プログラム

1, 学校区分

小	中	その他	計
22	17	0	39

参加者数	回収率
46	84.8%

3, 分科会について

(1) テーマについて

	良い	だいたい	あまり	回答なし	計
中	16	1	0	0	17
小	17	4	0	1	22
計	33	5	0	1	39

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか

	是非活用	今後検討	難しい	回答なし	計
中	7	10	0	0	17
小	4	17	1	0	22
計	11	27	1	0	39

⇒理由

《活用したい 今後、検討したい》

- ・参加型の研修で退屈せずよかった
- ・参加者どうしのつながりができてよかった
- ・発表がないのも参加のハードルが下がってよかった
- ・人権部会報に載せる
- ・学年懇談時に活用したい
- ・人権教育課に訪問いただきグループワークを単Pでもやりたい
- ・プログラムの実施については検討する
- ・保護者全体を対象とした研修はなかなかできないため、機会があれば開催したい
- ・もっと多くの方に参加してもらうようにしたい
- ・人権部長として、PTA会員の意識もそれぞれで悩んでいる。
- ・他の分科会にも参加してみたい

4, 今後 研修したい内容等があれば

- ・低学年含む子供向けの勉強会を開催するための研修
- ・ネットでの差別(部落差別、外国人)
- ・把握してないので、既存の研修のPRをたくさんやってほしい
- ・若年者の自殺が減っていないのが気になったため、PTAで自己肯定感を持たせるためにできること
- ・人権教育、メディアとの関わり方
- ・日常的な内容のテーマについて
- ・他者への思いやり、空気を読む(こども向け)
- ・いじめにあった児童からの相談方法や、いじめの対応
- ・子供サミットのように親子参加型の研修
- ・先生、保護者、地域住民が一体となった研修ができないか
- ・地域住民との関わり方

5 全体を通して気づいた点など

《第1分科会》

- ・どこの家庭もホンネで話せてないのを感じた
- ・他校のPTA会員含め、いろんな意見が聞けてよかった
- ・ギャラリーウォークがとてもよかった
- ・最後のいじめから子供を守る話がよかった
- ・派遣申し込みがない学校でも申し込みがない。県Pから出前講座など開催できないか？
- ・日曜日開催なので、案内の発信をもっと早くしてもらいたい。もっと多くの役員参加につなげるため
- ・ホンネで言える環境づくりを期待していたが、最後はいじめ問題だった(ミスマッチ)
- ・グルーピング時に学校区分(小学校、中学校)を合わせるとよい
- ・男性だけのグループでグループワークが停滞する面があった。ママさんを混ぜると良い
- ・他グループの方とも交流できるとなお良い
- ・トイレ休憩が欲しい

令和元年度 鳥取県PTA指導者研修（西部地区）参加アンケート結果

【第2分科会】広報紙

1, 学校区分

小	中	その他	計
20	17	0	37

参加者数	回収率
42	88.1%

3, 分科会について

(1) テーマについて

	良い	だいたい	あまり	回答なし	計
中	7	6	0	1	14
小	19	8	0	2	29
計	26	14	0	3	43

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか

	是非活用	今後検討	難しい	回答なし	計
中	11	2	1	0	14
小	22	7	0	0	29
計	33	9	1	0	43

⇒理由

《活用したい・今後検討したい》

- ・他校の広報紙が大変参考になった。講師の方のお話も分かりやすく良かった。
- ・特集など参考になりました。今後に活かしていきたい。(多数)
- ・レイアウト、見出しについてなど、参考になりました。(多数)
- ・広報紙のマンネリ化を感じているので、他校の作り方も見させてもらえたので、良かったです。
- ・誌面を見る立場に立って、見やすく、分かりやすく、興味を引く誌面作りが大切という事を改めて感じました。
(ページを埋めることだけに必死になりがちですが)
- ・他校の広報紙は内容が充実していた。作成することに意義はあるのだが、一方で負担が増える。
- ・広報紙の内容がいつも同じになりがち。そうなるとだんだん目を通してもらえなくなってくる。他校の広報紙が大変参考になった。
- ・読み手に興味を持っていただける内容での紙面作り、特集内容等、参考にします。
- ・毎年、広報紙コンクール入賞を目指して他校の広報紙を研究しています。今回入賞校の工夫などを聞いたので自校に持ち帰り共有したいと思います。
- ・活用したいと思いましたが、資料が回覧だけになってしまい、良い話をされていたと思うが内容を理解しにくかった。

4, 今後 研修したい内容等があれば

- ・今の広報紙のあり方、役目、活用法など新しい情報が欲しいです。みんなバックナンバーを見て考えていると思うが、難しいところもあると思う。
- ・個人情報の取り扱いが難しく、入学や卒業の特集が困難になってきています。個人情報、個人写真を使わずに見栄え、見ごたえのあるページにする工夫が知りたい。
- ・写真の撮り方、注意点など ・実際の広報紙制作、レイアウト
- ・例年、日本海新聞の方を講師に招いていると思いますが、雑誌や広報紙を編集している方(印刷業者・デザイン会社など)の視点からのアドバイスも聞いてみたいと思う。
- ・こども心理学・こどもコーチング

5 全体を通して気づいた点など

- ・おもしろく、参考になりました。 ・他校の広報紙を多く手に取れておもしろかったです。
- ・各学校の広報紙の内容で、最近は保護者の疑問に学校が答えるようなQ&Aになったものが増えてきたように思います。保護者も学校の教育に関心を持っている表れでしょうか。広報紙作りの参考にさせていただきます。
- ・準備をしっかりとしてください。時間を作ってせっかく参加したのでしっかり情報を持って帰りたい。
- ・パワーがあればより良かったです。

令和元年度 鳥取県PTA指導者研修(西部地区)参加アンケート結果
 【第3分科会】メディアについて(とっとり子どもサミット)

1, 学校区分

小	中	その他	計
15	12	0	27

参加者数	回収率
25	108.0%

※子どもは含まない

3, 分科会について

(1) テーマについて

	良い	だいたい	あまり	回答なし	計
中	11	1	0	0	12
小	10	5	0	0	15
計	21	6	0	0	27

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか

	是非活用	今後検討	難しい	回答なし	計
中	8	4	0	0	12
小	5	10	0	0	15
計	13	14	0	0	27

⇒理由

《活用したい》

- ・既存の取り組みを活用していきたい(ノーメディアデー、がんばるウィーク)
- ・メディアの問題や悩みは尽きないので継続してほしい
- ・家庭内ルールだけでなく、PTAとしての統一ルールがあっても良い
- ・フセンになくことで同意見・気持ちの方と意見交換できる
- ・子供の正直な意見がわかってよかった
- ・参加されない家庭(ルールのない家庭)にどう伝えていったらよいか課題

《今後検討したい》

- ・メディアについての考え方を学校や保護者どうして話し合いたい。

4, 今後研修したい内容等があれば

《メディアについて》

- ・メディア機器の使用方法(制限のかけ方)やトラブル解決法など
- ・SNSの使い方、マナーやルール
- ・親だけのメディア研修

《PTA全般について》

- ・義務教育終了までに取得すべきスキルは？親としてどう気をつけるか？
- ・通学路、交通安全対策、不審者対応
- ・PTAの役割や意義(誰も役員にならない)
- ・学力向上について
- ・食べ物や環境、「香害」について(不妊の原因になる?)

5, 全体を通して気づいた点など

《第3分科会》

- ・子供達、大人それぞれの意見が聞けてよかった
- ・家庭に持ち帰って子供と話し合いたい
- ・講師先生の話が面白く、また来てみたい
- ・様々な年齢層の子供の保護者と話す機会があつて、また各家庭のルールを聞けてよかった
- ・グループ内で子供の年齢差があつてかみあわないので子供の世代を揃えても良いかも
- ・特に小学生の意見をもう少し引き出せると良い
- ・子供の参加が少ない
- ・討議の場があると良い
- ・研修は良いが、参加していない人には知識が入らない。参加型の研修である旨がよくわからない
- ・父親が多かった
- ・研修時間(2時間半)は少し長い